

ピアノ・リサイタル



電気文化会館 ザ・コンサートホール

福間 洸太郎

ピアノ・リサイタル

日本デビュー20周年記念

～STORIES～ ストーリーズ

2024年

11/8 (金) 開演 18:45
(開場 18:00)

電気文化会館

ザ・コンサートホール

プログラム

ショパン: ポロネーズ第6番 Op.53『英雄』
ショパン: ソナタ第2番 Op.35『葬送』
ショパン: ポロネーズ第7番 Op.61『幻想ポロネーズ』
ワーグナー: オペラ『トリスタンとイゾルデ』より
序曲 (福間洸太郎編)
イゾルデの愛の死 (リスト編)
ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲 (ホルヴィック編)
スメタナ: モルダウ (福間洸太郎編)

料金 全席指定 (税込) 5,000円 一般発売 2024年6月8日(土) 10:00～

チケットの
お取扱い

●アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
●e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

●チケットぴあ <https://t.pia.jp>
+ (Pコード: 269-642)
●芸文プレイガイド 052-972-0430

●ローソンチケット <https://l-tike.com/>
+ (Lコード: 40107)
●CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

主催 / CBCテレビ

共催 / 電気文化会館 (中電不動産株式会社)

©Koutarou Washizaki

福間 洸太郎

Message

プログラムタイトルは、それぞれの作品の持つストーリー、プログラム全体を通して聴衆が想像する新たなストーリー、そして私と作品に纏わるストーリー(思い出など)を意味します。

ショパンは、私がまだピアノを習い始める前の幼少の頃から一番好きだった特別な作曲家です。小学校低学年で憧れてオクターヴが届かなくても自分流に弾いていた『英雄ポロネーズ』、パリ留学して間もない頃に師匠リグット先生のレッスンで挫折し20年近く人前で弾かなかった『葬送ソナタ』、NYデビュー&日本デビューリサイタルの両方で演奏した『幻想ポロネーズ』、これら3作品を通して一人の英雄の物語を描いてみたいと思いました。

後半はトランスクリプションをテーマに、ピアノという楽器の多彩な表現、特に交響的な響をお楽しみいただけるかと思います。私がヨーロッパで一番長く過ごしたドイツからワーグナー、最初の留学地フランスからドビュッシー、そして今年生誕200年のスメタナを取り上げます。また、私がライフワークとしている「愛」、「幻想」、「煌めく水(Shimmering Water)」のテーマをよく象徴した作品を選びました。『トリスタンとイゾルデ』の舞台は夜、『牧神の午後前奏曲』は午後、『モルダウ』は日中から夜、そして朝へという時間の流れがあり、それぞれ美しい自然描写も感じられるので、全く異なる作品ではありますが、

それらを繋げて新たなストーリーを想像できるかもしれません。
そして『トリスタンとイゾルデ』の序曲は、この秋のツアーに向けて編曲を手掛けました。どうぞお楽しみに！

Koutarou Washizaki
福間 洸太郎

©Koutarou Washizaki

Profile

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。

これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、ベルリン・コンツェルトハウス、サル・ガヴオー、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、トーンキュンストラ管弦楽団、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。2016年7月には故ネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。また、フィギュア・スケートのステファン・ランビエルなどの一流スケーターとのコラボレーションや、パリにてパリ・オペラ座バレエ団のエトワール、マチュー・ガニオとも共演するなど幅広い活躍を展開。

CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」、「France Romance」、「ベートーヴェン・ソナタアルバム」(ナクソス)など多数録音しており、2023年にリリースした通算19枚目の最新CD「幻想を求めて-スクリャービン&ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州の International Classical Music Awardsにノミネートされた。

そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ『レア・ピアノミュージック』のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあぼweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプトチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」、NHK テレビ「クラシック音楽館」や「クラシック倶楽部」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞受賞。2024年、日本デビュー20周年を迎え、秋に記念ツアーを予定。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>

公式ファンクラブ <https://shimmeringwater.net/>

※客席内での写真撮影、録音、録画、携帯電話の使用、またはこれらに類する行為は固くお断りします。

※やむを得ない事情で公演内容など変更になる場合がございます。

※車椅子のお客様はご購入前にアイ・チケッまで必ずお問合せください。

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りします。

お問合せ：CBCテレビ事業部 ☎ 052-241-8118 10:00~18:00(土・日・祝休み)